

吉田忠生：黒木宗尚先生の御逝去を悼む

Tadao YOSHIDA: Munenao KUROGI (1921–1988) in memoriam



北海道大学名誉教授黒木宗尚先生は昭和63年10月18日にすい臓炎のため、約1カ月の闘病ののち、札幌市において御逝去されました。享年67歳でした。

先生は大正10年3月12日宮崎県青島に生まれ、昭和21年9月北海道帝国大学理学部植物学科を卒業後、植物分類学講座に助手として勤務された。昭和26年4月に水産庁東北区水産研究所に農林技官として転出され、増殖部長を経て、昭和41年4月からは山田幸男先生の後をうけて北海道大学教授に任命された。昭和59年停年退官され名誉教授の称号を授与された。退官後も札幌に在住して研究室に通って仕事を続けられていた。

先生は山田先生に師事して、はじめ北海道産の褐藻シオミドロ類についての研究に取り組み、そのうち3種類の日本新産種については後に発表された。宮城県塩釜市の東北区水産研究所に赴任してから、養殖アマノリ類の研究を始めた。ちょうどイギリスのDrewが *Porphyra umbilicalis* の果胞子は発芽して *Conchocelis* になるという報告を1949年に発表した直後であり、ただち

にアサクサノリの果胞子を貝殻を基質として培養し同様の結果を得るとともに、*Conchocelis* からの胞子放出も確認して生活史の全体を明らかにした。この結果を応用して海苔の人工採苗技術の開発の第一線に立つとともに、*Conchocelis* の生理生態の研究によって胞子嚢形成や胞子放出は光周性の反応であることを発見した。これは藻類における光周性の最初の確実な証明である。海苔養殖の研究でも分類学的な視点に立って種レベルでの特徴の把握に努め、養殖に利用されている種のそれぞれの生活史を解明した。昭和33年には養殖技術研究の功績により農林大臣表彰を受けた。アマノリ類の分類学的研究は生涯のテーマとして力を入れ、とくに北海道周辺のもの研究は病床につくまで継続された。またワカメ養殖技術開発にも力を入れ、東北地方で得られた結果を天然にはワカメの分布していない北海道東部の根室市地先においても試験して、実用化の可能性を実証した。

札幌に転任してから寒流域の海藻フローラの解明を目指して、学生の指導にあたった。その際、アマノリ類の研究を通じて得た研究態度、すなわち生きた材料を観察すること、個体ではなく個体群として把握することを他の群にも適用し、標本の形態学的な観察だけでなく、現地でも生態を知ること、培養によって生活史を通じてすべての生育段階を研究することを要求された。BerkeleyのWest教授との日米共同研究においても海藻を対象としたバイオシステムティックスを推進した。

昭和46年からは山田先生の後をうけて北海道文化財専門委員、昭和51年からは北海道文化財保護審議会委員として特別天然記念物阿寒湖のマリモの調査を続け、その保護に努力をしてきた。昭和48–50年、60–61年の2回大規模な調査を企画実施してマリモの生育状況を明らかにした。宮崎の海岸育ちで水泳に自信があり、マリモの生育を素潜りで自分の目で確かめる努力もされた。

昭和46年に札幌で開催された第7回国際海藻学会議には組織委員となり、同年日米セミナーを主催し、昭和56年の第13回国際植物学会議（シドニー）では副会長に指名されるなどの国際的な学会活動をおこなっ

た。日本藻類学会にはその発起人の一人として、発足から関係し、評議員や編集委員を歴任するとともに昭和54、55年には会長として学会の発展に努力された。その他日本植物学会、植物分類学会、日本水産学会、水産増殖談話会、国際藻類学会などの学会にも参加し、評議員などとして運営に協力された。

先生の温厚な人柄は先生を知っている全ての人から敬愛されたきた。つねに物静かな態度で人に接し、いろいろな事柄を処理する際、決定に至る迄に時間を掛けて周囲の者の意見をよくきかれた。しかし一旦決断するとそれを強く主張されることがおおく、熟慮断行の性格であった。学生の指導にもつねに心を配られ、卒業後も仕事のことやその家族のことまで気にしておられた。病床にあっても卒業生のことを気遣っておられたという。

終わりに先生の主要な業績を紹介し、心から御冥福をお祈りします。

(060 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学理学部植物学教室)

主要業績目録

著 書

ノリ養殖の進歩。今井丈夫監修、浅海完全養殖pp. 1-79. 恒星社厚生閣 (1971). 岩崎・吉田・秋山と共著

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. Japanese Society of Phycology. pp. 279 (1972). with Abbott (ed.)

マリモ。堀田 満編、植物の生活史pp. 45-55. 平凡社 (1980)

論 文

- アマノリ類の生活史の研究。第1報。果胞子の発芽と生長。東北水研研究報告 2: 67-103. (1953).
- アサクサノリ糸状体の単胞子放出について。東北水研研究報告 2: 104-108. (1953).
- Life-history of *Bangia* (Preliminary report). VIII Congr. Intern. Bot. Paris. 17: 74-76. (1954).
- Two species of Myrionemaceae new to Japan. Sci. Pap. Inst. Algal. Res. Hokkaido Univ. 4: 63-70. (1954).
- 乾燥・海水塩分・光線がアマノリ類の糸状体 (*Conchocelis* 期) に及ぼす影響。東北水研研究報告 4: 262-278. (1955). 平野と共著
- アサクサノリ糸状体の単胞子放出について (2) 放出の日周期。東北水研研究報告 4: 279-282. (1955).
- アマノリ類の生活史, 特に所謂夏ノリに就いて (マルバ型アサクサノリの生活史, 予報). 藻類 4: 13-18. (1956).
- アマノリ類の糸状体の単胞子放出について (海での実験). 東北水研研究報告 8: 27-44. (1956). 平野と共著
- アサクサノリの糸状体の生長・単胞子嚢形成・単胞子放出と水温との関係。東北水研研究報告 8: 45-61. (1956). 平野と共著
- 養殖ノリの種類。水産増殖 4(4): 21-28. (1957).
- ワカメの生態及び養殖に関する研究。東北水研研究報告 10: 95-117. (1957). 平野と共著
- アマノリ類の糸状体の生長・成熟と光条件I 単胞子嚢形成及び単胞子放出と日長作用 (1). 東北水研研究報告 15: 33-42. (1959).
- 室蘭産スサビノリについて。東北水研研究報告 15: 43-56. (1959).
- 養殖アマノリの種類とその生活史 (アマノリ類の生活史の研究第II報). 東北水研研究報告 18: 1-115. (1961).
- アマノリ類の糸状体の生長・成熟と光条件 I, II, III. 東北水研研究報告 20: 121-126, 127-137, 138-156. (1962). 秋山・佐藤と共著
- 山田湾・船越湾の養殖アマノリの種類とコスジノリの一新品種について。東北水研研究報告 23: 117-140. (1963).
- 養殖アサクサノリの着生密度・生長と収量について。東北水研研究報告 24: 88-101. (1964). 吉田・桜井と共著
- アマノリ類の糸状体の生長・成熟と光条件 IV 単胞子の放出と明るさ。東北水研研究報告 25: 171-177. (1965). 秋山と共著
- 数種のアマノリの糸状体の生長・成熟と水温。東北水研研究報告 26: 77-89. (1966). 秋山と共著
- 東北地方におけるチシマクロノリの養殖。東北水研研究報告 26: 91-107. (1966). 吉田と共著
- チシマクロノリとマクレアマノリの糸状体の生長・成熟と日長。東北水研研究報告 27: 111-130. (1967). 佐藤と共著
- チシマクロノリの糸状体の単胞子放出と水温。東北水研研究報告 27: 131-139. (1967). 佐藤・吉田と共著
- 紅藻ベニフクロノリとカタベニフクロノリの雄性生殖器官について。植雑 81: 452-458. (1968). 李と共著
- 紅藻マサゴシバリの精子器形成について。植研 43: 29-32. (1968). 李と共著
- コンブモドキの生態と構造について。藻類 18: 49-53. (1970). 山田と共著
- The development and structure of vegetative and reproductive organ of *Binghamia californica* (Rhodophyta). Bot. Mag. Tokyo 86: 253-266. (1973). with Lee
- 特別天然記念物阿寒湖のマリモの生息状況と生育量。阿寒町 pp. 90 (1976).
- Observations on the type specimen of *Porphyra variegata* (Kjellman) Hus and its comparison with Japanese "*P. variegata*". Bull. Jap. Soc. Phycol. 25

- (Suppl.): 101–112. (1977).
29. *Neohalosaccocolax aleutica* gen. et sp. nov. (Rhodophyta), parasitic on *Halosaccion minjiai* I. K. Lee from the North Pacific. *Br. phycol. J.* **13**: 131–139. (1978). with Lee
 30. The genus *Polytretus* (Ectocarpaceae, brown algae) in Japan. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **11**: 237–248. (1978).
 31. Sexual reproductive structures and postfertilization in *Rhodochorton subimmersum* Setchell et Gardner. *Jap. J. Phycol.* **26**: 115–119. (1978). with Lee
 32. On the structure and reproductive organs of *Halosaccion glandiforme* (Gmelin) Ruprecht, Rhodophyta. *Jap. J. Phycol.* **27**: 25–30. (1979). with Lee
 33. Morphological observation on a brown alga, *Delamarea attenuata* (Kjellman) Rosenvinge (Dictyosiphonales), new to Japan. *Jap. J. Phycol.* **28**: 225–231. (1980). with Kawai
 34. The life history of *Gigartina ochotensis* (Ruprecht) Ruprecht in culture. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **12**: 165–171. (1981). with Masuda
 35. Cultivation of *Undaria pinnatifida* (Harvey) Suringar, the decrease in crops from natural plants following crop increase from cultivation. *Bull. Tohoku Reg. Fish. Res. Lab.* **44**: 91–100. (1982). with Akiyama
 36. Reproductive phenology of *Gigartina pacifica-ochotensis* and *Petrocelis* (Rhodophyta) in Oshoro Bay, Hokkaido. *Jap. J. Phycol.* **30**: 125–133. (1982). with Ohno and Masuda
 37. Morphology and life history in culture of a new variety of *Litosiphon groenlandicus* (Dictyosiphonales; Phaeophyta) from Japan. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **13**: 25–38. (1983). with Kawai
 38. The life history of *Auduinella alariae* (Jonsson) Woelkerling (Rhodophyta, Acrochaetiaceae) in nature and culture. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **13**: 57–76. (1983). with Lee
 39. Morphological observations on *Porphyra occidentalis* Setchell et Hus (Rhodophyta, Bangiales) collected near Carmel, California. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **13**: 77–98. (1983). with Shimizu
 40. 褐藻ナガマツモ目の一新産種 *Acrothrix gracilis* Kylin (キタニセモヅク：新称) について. *藻類* **31**: 122. (1983). 川井と共著
 41. Comparative reproductive patterns in culture of different *Gigartina* subgenus *Mastocarpus* and *Petrocelis* populations from northern Japan. *Bot. Mag. Tokyo* **97**: 107–125. (1984). with Masuda, West and Ohno
 42. On the life history of *Pseudochorda nagaii* (Pseudochordaceae fam. nov.) and its transfer from the Chordariales to the Laminariales (Phaeophyta). *Phycologia* **24**: 280–296. (1985). with Kawai
 43. Life history patterns and geographical distribution of the species of *Mastocarpus* (Rhodophyta) from Japan. *In Origin and Evolution of Diversity in Plants and Plant Communities 1985*: 285–294. (1985). with Masuda
 44. Observations on the type of *Liagorophila endophytica* Yamada (Acrochaetiaceae, Rhodophyta). *Jap. J. Phycol.* **34**: 171–176. (1986). with Lee and Yoshida
 45. Life history studies in culture of a *Mastocarpus* species (Rhodophyta) from central Japan. *Journ. Fac. Sci. Hokkaido Univ. Ser. V(Bot.)* **14**: 11–38. (1987). with Masuda and West